



第 65 卷(通巻 269 号)



福島県立図書館  
～信夫山を背景に～

おかげさまで入館者 700 万人達成！



ミステリーツアーにて  
おはなしを聞く子どもたち



毎月テーマを変えて  
情報発信する展示コーナー



実務研修会にて  
危機管理について話し合う様子

## 巻頭言

これからの100万人の十分な満足を得るために

福島県立図書館長 玉井 章



平成27年10月18日(日)、入館者が700万人を突破した。昭和59年7月22日に新築移転して31年目での達成であり、総じて順調に推移してきたのではないかと思う。今までの入館者の方々と多くの先輩に感謝したい。ただ、これまで100万人単位での入館者達成は4年程度でクリアしていたが、600万人からの100万人には6年を要している。平成23年3月11日の震災・原発事故の影響であり、未だ震災前の利用状況に戻っていない。震災前の利用状況に早く戻し、さらには利用拡大を図るためには、知恵と工夫が求められている。

図書館の利用状況を比較する指標として、入館者数と貸出冊数がよく利用されるが、様々な背景要素が異なるので、一概に数値だけでの比較は意味がない。究極的には、利用者の方々の満足度の向上に尽きる。旧態依然とした手法・対応では、社会情勢、環境の変化等に取り残され、結果として利用者の満足度は相対的に低下することにつながる。

限られた予算の中で図書を購入し、貸出、閲覧サービスを提供することは、図書館業務の根幹部分であり最も大切な要素であるが、最近の図書館にはこの本来業務だけでは不十分になっている。つまり、十分な利用者満足を得ることができないのである。レファレンス業務やビジネス支援の充実・強化が必要であるだけでなく、各種情報の発信、知・文化の拠点施設としてのサービスの提供、地域課題の解決のための支援等、今、図書館に求められている役割は多岐にわたっている。利用者の満足度がアップするために、手近なところから、簡単などころから、工夫・改善が必要との思いで努力している。何か変わってきたね、図書館に行くのが楽しみなどと感想が寄せられるように、職員一丸となっているところである。800万人達成の時には、お褒めの言葉をいただけるように頑張りたい。具体的には、来館して肌で感じ、意見・感想を寄せていただければありがたい。

## ☆ 祝 県立図書館入館者700万人達成 ☆

10月18日(日)午後2時15分に入館者がついに700万人を突破し、エントランスホールにおいて記念のセレモニーを行いました。

700万人目の方は、福島市春日町にお住まいの渡邊浩美さんでした。渡邊さんには玉井館長から花束と記念品の図書カードを贈呈しました。渡邊さんは「図書館には20年近く通っていますが、今日は久しぶりに来たので驚きました。本当にうれしいです。」と話されていました。また、併せて、当館所蔵の錦絵を印刷したポストカードを作成し、希望する方への配布も行いました。



☆記念ポストカードに掲載した錦絵☆

- ① 『府県名所図会 福島県岩代猪苗代湖』  
安藤広重/画 1880年
- ② 『福島県岩代国福島町信夫橋眞景ノ図』  
辻岡文助/画工 1885年
- ③ 『諸国名所百景 奥州相馬妙見祭馬追の図』  
安藤広重/画 (出版年不明)

# 移転開館から700万人達成まで

昭和59(1984)年7月に移転開館してから入館者700万人達成までを当館の歴史とベストセラーの本とともに振り返ります。

## 入館者100万人【昭和63(1988)年】

### ベストセラー

1. ノルウェイの森 上・下 村上春樹／著 講談社
2. こんなにヤせていいかしら  
川津祐介／著 青春出版社
3. ダンス・ダンス・ダンス 上・下  
村上春樹／著 講談社

### 主なできごと

福島県立図書館だよりが創刊されました。現在197号まで発行されており、図書館のイベント案内や新着図書を紹介をしています。また、弁護士の故堀切真一郎氏より約7000冊の寄贈がありました。

## 入館者300万人【平成9(1997)年】

### ベストセラー

1. 失楽園 上・下 渡辺淳一／著 講談社
2. 少年H 上・下 妹尾河童／著 講談社
3. 鉄道員(ぼっぼや) 浅田次郎／著 集英社

### 主なできごと

芥川龍之介の没後70年となる年で、出版界でも芥川の研究書が数多く刊行されました。県立図書館ではこれにあわせ、〈芥川龍之介と芥川賞〉の資料展示を行いました。

## 入館者500万人【平成17(2005)年】

### ベストセラー

1. 頭がいい人、悪い人の話し方  
樋口裕一／著 PHP 研究所
2. さおだけ屋はなぜ潰れないのか?  
山田真哉／著 光文社
3. 東京タワー オカンとボクと、時々、オトン  
リリー・フランキー／著 扶桑社

### 主なできごと

福島県立図書館のあるべき姿を「学びの環境づくり」で示しました。その後、その実現に向けて取り組むべき施策として平成20年3月に「福島県立図書館アクションプラン」が策定され、第2次プランは現在の当館の行動指針となっています。

#### 【参考資料】

「出版年鑑」

「福島県立図書館報あづま」通巻236、244、268号



## 入館者200万人【平成5(1993)年】

### ベストセラー

1. マディソン郡の橋  
ロバート・ジェームズ・ウォラー／著 文藝春秋
2. 磯野家の謎 東京サザエさん学会／編 飛鳥新社
3. 日本改造計画 小沢一郎／著 講談社

### 主なできごと

県立図書館の移転新築(昭和59年7月)から10年目という節目の年でもありました。

## 入館者400万人【平成13(2001)年】

### ベストセラー

1. チーズはどこへ消えた?  
スペンサー・ジョンソン／著 扶桑社
2. ハリーポッターとアズカバンの囚人  
J・K・ローリング／作 静山社
3. ハリーポッターと賢者の石  
J・K・ローリング／作 静山社

### 主なできごと

(財)日本宝くじ協会より移動図書館車「あづま号」を受贈しました。現在も県内の図書館未設置町村を巡回し、読書施設の運営相談・図書館活動の促進・読書グループの育成にあたっています。

## 入館者600万人【平成21(2009)年】

### ベストセラー

1. 1Q84 BOOK1・2 村上春樹／著 新潮社
2. 読めそうで読めない間違いやすい漢字  
出口宗和／著 二見書房
3. バンド1本でやせる!巻くだけダイエット  
山本千尋／著 幻冬舎

### 主なできごと

福島大学との図書館利用相互協力協定に基づく運用が開始されました。平成23年には県立医科大学とも協定を結び、現在3館で貸出・返却連携サービスを行っています。

## 【記録】福島県立図書館移転 30 周年記念事業

平成 26 年 7 月 22 日、当館が福島市森合の地に移転してから 30 年の節目を迎え、それを記念して、平成 26 年度には多くの展示やイベントを行いました。



### 【文化講演会】①

「図書館があるということ」

講師：大滝則忠氏(国立国会図書館長)

H26. 7. 24 〈講堂〉



### 【文化講演会】②

「地域の文化振興に求められる図書館の役割」

講師：赤坂憲雄氏

(民俗学者・福島県立博物館長)

H26. 10. 25 〈講堂〉



### 【ふくしまを知る連続講座】〈第一研修室〉

①「1888 年の磐梯山噴火～福島県立図書館所蔵資料を中心として～」 H26. 7. 8

講師：磐梯山噴火記念館 副館長 佐藤公氏

②「大堀相馬焼の歴史と伝統」 H26. 8. 31

講師：県文化財センター白河館

主任学芸員 山田英明氏

③「アートクラブと堀江繁太郎」 H26. 9. 14

講師：県立美術館 主任学芸員 堀宜雄氏

④「福島文学散歩

～知られざる名作を求めて～」 H26. 10. 26

講師：福島学院大学 非常勤講師 菅野俊之氏

⑤「松平定信と『集古十種』」 H26. 11. 16

講師：県立博物館 主任学芸員 小林めぐみ氏

⑥「御嶽山と吾妻山」 H26. 12. 14

講師：磐梯山噴火記念館 副館長 佐藤公氏

### 【展示その他】

・「30 歳になった絵本展」 H26. 7. 23～27

・「おはなしかい」(30 年前発行の絵本等)

H26. 7. 26 〈こどものへや〉

・「図書館探検」 H26. 7. 26 〈書庫等〉

・「梶井宮御流福島支部特別華道展」

H26. 7. 23～27 〈公開図書室エントランスホール〉



### 【図書館の至宝展】〈公開図書室エントランスホール〉

展示名	展示内容	期間
新聞でたどる福島県立図書館のあゆみ	県立図書館が開館した昭和 4 年 10 月の新聞を中心に	H26. 4. 4～4. 30
錦絵に描かれた福島	『福島県岩代国福島町信夫橋眞景ノ図』『白虎隊英雄鑑』『奥州相馬妙見祭 古典画』	H26. 5. 2～6. 4
装丁の妙 みちのく豆本の世界	『みちのく豆本』の中から約 10 点	H26. 6. 6～7. 2
磐梯山噴火	『磐梯山噴火埋没図』など	H26. 7. 4～8. 6
児童図書研究室 『名著復刻日本児童文学館』	児童文学黎明期の巖谷小波から戦中期の壺井榮までを復刻した資料の中 から	H26. 8. 8～9. 3
堀江繁太郎展	県内初の洋画団体「アートクラブ」の一員だった堀江繁太郎の作品等	H26. 9. 5～9. 27
オーピー・コレクション 『復刻マザーグースの世界』	伝承童謡の研究で著名なオーピー夫妻のコレクションの中から復刻され た 8 点	H26. 10. 3～11. 5
集古十種展	松平定信が学者らに編纂を命じた古文化財図録『集古十種』の再販本(明 治期)	H26. 11. 7～12. 3
『日清戦史 草案集』 佐藤文庫より	日清・日露戦争の資料が充実している当館の特殊文庫「佐藤文庫」より『日 清戦史 草案集』	H26. 12. 5～12. 27
会津三方道路	『福島県道路風景画帖 会津三方道路その他』『福島県下諸景写真』等	H27. 1. 6～2. 11
福島県史跡名勝の『鳥瞰図』	『観光の福島県 福島県史蹟名勝鳥瞰図』『会津若松市及附近案内図』等	H27. 2. 21～4. 1

### 平成 27 年度も引き続き開催【ふくしまを知る連続講座】

① 6 月 21 日「会津盆地の弥生時代～その展開と背景～」講師：佐藤啓氏(県文化財センター白河館)

② 10 月 18 日「史料にみるふくしまの温泉」講師：小野孝太郎氏(県歴史資料館)

③ 11 月 15 日「引札が語る商業のまち福島の歴史」講師：柴田俊彰氏(福島市史編纂室)

④ 12 月 6 日「京都清水寺と大笹生斗蔵観音」講師：鈴木啓氏(県考古学会顧問)

⑤ 1 月 24 日「亜細亜と欧州を結ぶ～須賀川の銅版画家 亜政堂田善が見た世界～」

講師：坂本篤史氏(県立美術館)



※肩書きは実施当時

### ① 国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」のご案内

平成 24 年度の著作権法改正で、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、デジタル画像を公共図書館等に送信することが可能となり、当館のパソコンでも閲覧できるようになりました。利用するためには、福島県立図書館の利用カード(利用者登録)が必要です。また、複写については著作権法の認める範囲で可能です。

「国立国会図書館デジタルコレクション」(<http://dl.ndl.go.jp/>) に収録されている資料のうち、次の資料が利用できます(平成 26 年 1 月時点)

- 図書：昭和 43 年以前に国立国会図書館で受入れたもの(約 50 万点)
- 雑誌：平成 12 年までに発行されたもの(商業出版物を除く)(67 万点)
- 古典籍(2 万点)
- 博士論文(12 万点)

※詳しくは、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービスについて」([http://dl.ndl.go.jp/ja/about\\_soshin.html](http://dl.ndl.go.jp/ja/about_soshin.html))をご覧ください。

### ② 「東日本大震災福島県復興ライブラリー」について

東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故、また、それに伴う県内の被災・復興の関連資料を集め、「東日本大震災福島県復興ライブラリー」として開設しています。収集した資料は平成 27 年 9 月 11 日現在で 8,819 タイトルを数えます。この中から、当館職員が資料を厳選し紹介した「ブックガイド」や、「地元新聞にみる原発関連見出し一覧」は、復興ライブラリーと共に利用されています。

また、県内外の図書館・図書室に向けては資料及びパネルの展示セットを用意し、出張展示を行っております。これまでに、愛媛県立医療技術短期大学図書館、大阪府立中央図書館、千葉県市川市立中央図書館、宇都宮市立中央図書館、二本松青年海外協力隊訓練所図書室、茨城県筑西市立中央図書館の合計 6 館での出張展示が開催されました。

当館では、震災の記憶を風化させることなく、また、ふるさとのさらなる復興に寄与するため、これからも資料の充実に努めてまいりますので、どうぞご活用ください。



ライブラリー全景



ブックガイドコーナー

### ③ 子育て支援コーナー・授乳室のご案内



「子育て支援コーナー」には、親子で読書を楽しむための絵本や、読み聞かせについての絵本ガイドブックをはじめ、子育て情報誌など、子育てに役立つさまざまな情報が集められています。子育て中の保護者の方や子育てに関わっている方々は、ぜひ情報源としてご活用ください。

また、ベビーベッドを備えた授乳スペースもあります。お天気の良い日にお散歩がてら、図書館で過ごしてみませんか？毎月第 2 木曜日には赤ちゃんや保護者とわらべうたや絵本を楽しむ「ちいさなおはなしかい」も開催しています。

## 読書週間事業「秋の夜長を図書館で～特別な夕べ～」

平成 27 年 10 月 31 日 (土) 開館時間を 21 時まで延長し、あわせてイベントも開催しました。

- ・ 特別展示『阿武隈川水路図』：当館の貴重資料（全長 13 メートル）の全容を初公開
- ・ ギャラリートーク：『阿武隈川水路図』について福島市史編纂室の守谷早苗さんによる解説
- ・ 語りを楽しむ夕べ：「ふくしま民話茶屋の会」大関マサ子さんと辺見美江子さんによる昔話の語り
- ・ 図書館探検：公開図書室や書庫などを当館職員がご案内

\*特別展示及びギャラリートークに約 100 名の参加があったほか、多くの利用者の皆さんに「特別な夕べ」をお楽しみいただきました。



## ◎福島県地域資料(福島県関係資料)ご寄贈のお願い

福島県立図書館では、福島県の過去・現在を未来へ伝える資料として、福島県に関する資料、福島県にゆかりの方の著作物を収集・保存し、県内外の利用に供しています。

福島県や福島県内各地に関する資料、福島県にゆかりの方の伝記等を刊行された際や、福島県にゆかりの方の著作をお持ちの際には、**2部**ご寄贈くださいますようお願いいたします。

また、福島県立図書館では平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災とそれに伴う福島県内の被災・復興に関する資料を特に重要なものととらえ、重点的に収集に取り組んでおります。

- ・ 震災関連の写真集・記録集等
- ・ 被災に関する調査報告書、復興計画書・報告書、自治体が発行した広報誌の震災特別号等
- ・ 被災地で発行されたミニコミ誌・フリーペーパー等
- ・ 個人が発行した手記、詩集等（自費出版物も含みます）

これらの資料を刊行された際にも、**2部**ご寄贈くださいますようお願いいたします。



【お問い合わせ先】〒960-8003 福島市森合字西養山 1 番地  
福島県立図書館 資料情報サービス部 地域資料チーム  
TEL 024-535-3218 E-mail [chiiki@library.fks.ed.jp](mailto:chiiki@library.fks.ed.jp)

## ◎図書の寄贈（平成 26 年度）

次の団体より図書の寄贈がありました。福島県立図書館をとおして広く皆様の利用に供します。

- |   |  |
|---|--|
| ■国際ソロプチミスト福島<br>児童図書 56 冊(100,000 円相当)                    | ■ふくしま市町村支援機構<br>図書 634 冊(1,000,000 円相当)                                      |
| ■国際ソインタ福島ソインタクラブ<br>児童図書 64 冊(100,000 円相当)                | ■福島信夫ライオンズクラブ<br>絵本 52 冊(100,000 円相当)  |
| ■新潟県立図書館古本再生市実行委員会<br>児童書 31 冊                            | ■丸善出版株式会社<br>DVD 7 本   |
| ■日産自動車株式会社<br>第 30 回日産童話と絵本のグランプリ受賞作品<br>県内図書館・公民館分 190 冊 | ■明治安田生命保険相互会社<br>図書 343 冊  |
| ■福島県教職員互助会<br>図書 747 冊・児童図書 512 冊(2,000,000 円相当)          | ■第 4 回東日本大震災チャリティーコンサート音踊力<br>Avecoco 福田純子パレエスタジオ<br>児童図書 139 冊(250,000 円相当) |

第 65 巻（通巻 269 号）

平成 27 年 11 月 26 日

発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山 1 番地 TEL:024-535-3218(代表)

ホームページ URL : <https://www.library.fks.ed.jp>